

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会学	松田 いらあ	講義	2	社会福祉士	2	2	1,2,3,4
授業概要 授業目的	<p>21 世紀の現代、19 世紀から 20 世紀にかけて社会を支えてきた条件-とりわけ雇用、家族、コミュニティが再編される時期を迎えて久しい。この授業では、かつて自明と思われてきたことがらを社会学的に検討し直すことによって、21 世紀の社会でともに生きる方法を探究する。</p> <p>授業は基本的に講義形式で行う。随時授業内課題を実施し提出された課題をもとに、受講生とともに考える機会を設ける。</p>						
到達目標	この授業では、受講生が現代社会の課題を知るだけでなく、自分自身で社会問題を把握し行動できるようにすることが目標である。						
回	学習内容						
1	はじめに：この授業の進め方と評価方法の説明						
2	社会と社会学						
3	近代社会とは						
4	現代社会とは						
5	自己（自我）をめぐる社会学						
6	家族をめぐる社会学：家族の定義						
7	家族をめぐる社会学：現代家族をめぐる諸問題						
8	ジェンダーをめぐる社会学						
9	若者をめぐる社会学						
10	仕事をめぐる社会学						
11	コミュニティをめぐる社会学						
12	国家をめぐる社会学						
13	グローバル化をめぐる社会学						
14	メディアと情報化をめぐる社会学：メディアの歴史と現代社会						
15	まとめ：この授業の総括						
予習内容 復習内容	<p>予習：前回の授業内容の確認。</p> <p>復習：授業資料や参考文献を参照して、学習内容の理解を深める。</p>						
教科書	テキストは使用しない。参考文献は講義中に伝える。						
成績評価	授業内課題 50%、レポート 50%。全 15 回のうち 10 回以上の出席者が成績評価の対象となる。						
実務経験							
その他 特記事項							